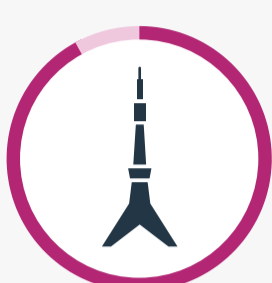


変わりゆく日本の データセキュリティ

2019年 タレス データ脅威レポート – 日本市場版

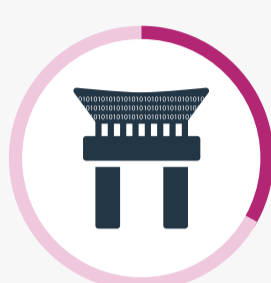
2019年 タレス データ脅威レポート – 日本市場版の抜粋。本調査レポートは、ITおよびデータセキュリティに責任または影響力のある全世界1,200人の企業回答者に対してアンケート調査を行い、そのうち日本からの回答100件の結果をまとめたものである。調査はタレスがスポンサーとなり、IDCが、アンケート調査、分析、報告を行った。

デジタルトランスフォーメーションが進展し、 機密データの取り扱いが拡大



92%

の回答企業が、デジタルトランスフォーメーション技術と共に機密データを使用している。



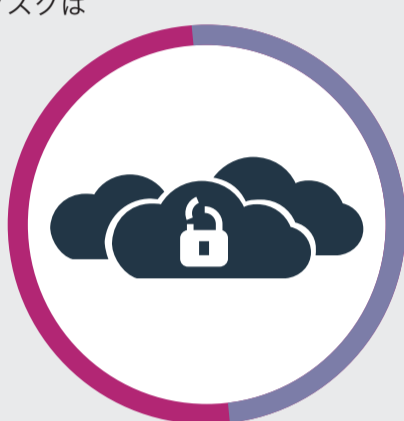
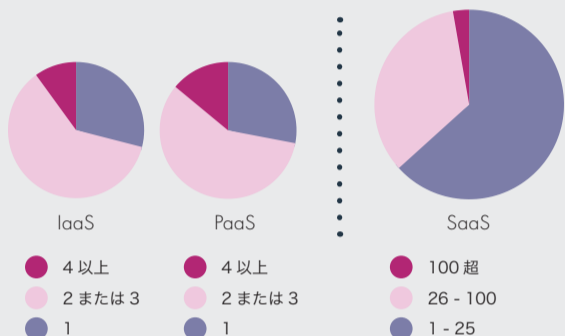
33%以下

の企業しか、こうした環境でのデータの暗号化を実施していない。

マルチクラウド環境にある企業の実態

マルチクラウド環境では、機密データを保護するタスクはさらに複雑化している。

利用するクラウドの数



44%

が、クラウドプロバイダーへのセキュリティ侵害や攻撃について懸念を抱いている。

45%

の企業が、暗号鍵を自社で管理する形態のSaaSの暗号化が、SaaS利用に当たってのデータセキュリティにおける最も優れたソリューションであると認識している。

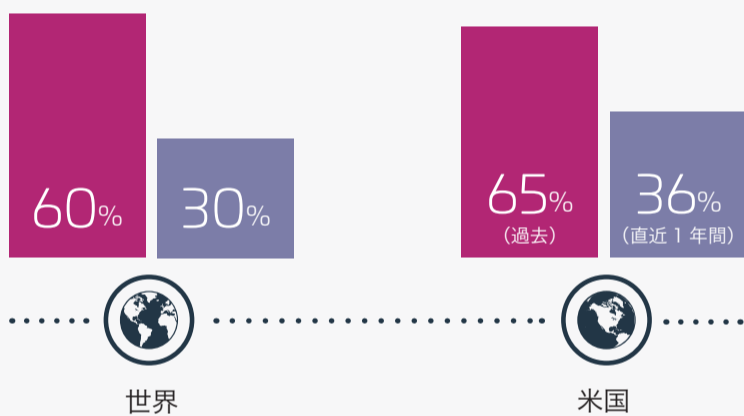
日本企業のほぼ半数がデータ侵害に

45%

の日本企業が、過去にデータ侵害を受けたことがあり、そのうち……

21%

が直近の1年間であった。

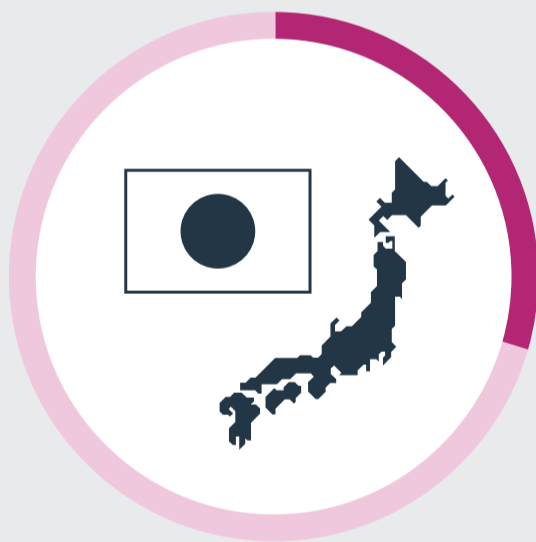


低い暗号化率

機密データを保護する重要性を認識しているにもかかわらず、企業全体の暗号化率は驚くほど低い。

30%

を下回る企業で、多くのユースケースに暗号化を適用済みと回答している。



データプライバシーと主権の規制

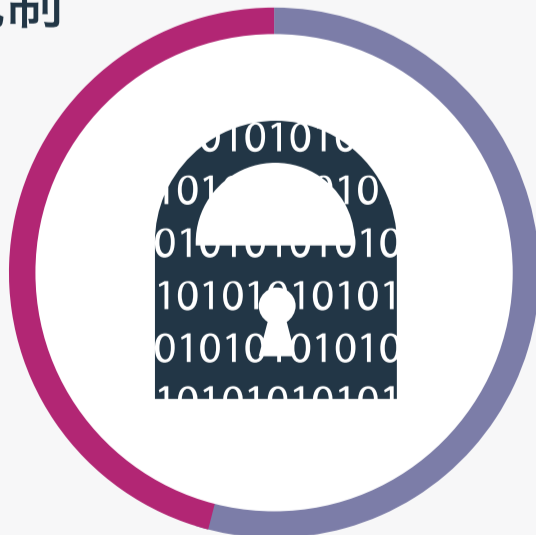
すでに世界中で実施されている個人情報保護法の影響と、100以上のデータプライバシーに関する規制によって

84%

が、こうした法規制の影響を受ける。

54%

が、要件を満たすために、暗号化やトークナイゼーション（暗号化技術）を使用する。



データセキュリティは 難しいことでは ありません

組織は、データセキュリティをどう実現するかについて新たな視点を持つべきです。ぜひ Thales の Web サイトにアクセスして、IDC の提言を含む詳細調査レポートをダウンロードし、一読されることをお勧めします

Follow us on:



RESEARCH AND ANALYSIS FROM:

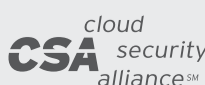


Thalesecurity.co.jp/dtr-japan

Thank you to our sponsors



キヤノンマーケティングジャパン株式会社



THALES

Decisive technology
for decisive moments

> thalessecurity.co.jp<



thalessecurity.co.jp/DTR

#2019DataThreat